

セミナー通信

V o 1 . 2 4 9

西村セミナールーム

主宰 西村 恵子

セミナールーム十訓より一「努力する意志のないものは去れ」

今年度のはじめから順に説明させていただきました「セミナールーム十訓」も、残すところあと二つとなりました。今月はかなり厳しい言葉です。同じ内容なら「努力する意志のある者は集え」でもいいように思われるでしょう。そのほうが前向きで柔らかい表現かもしれません。しかし、「やる気がないのなら辞めなさい。」という言葉が普段から塾生になげかけている塾です。あえてこの表現にしました。では、本気ではないのかというと、本気です。こう言われて辞めるような者は辞めた方がいいと心底思っています。

今現在、塾生の中には「塾を辞めたい。」と思いながら通っている子は一人もいません。そんな気持ちでは当塾は続けられないからです。後ろ向きの気持ちでは、3回連続不合格になったら退塾、という約束のパートテストにそもそも1回も合格することは出来ません。塾を辞めてしまったら困るという気持ちから、退塾にならないための「パートテスト合格」という最低限のことは皆こなしています。

ではそれで十分で、上の十訓にあたる塾生はいないのかといいますと、そうではありません。パートテストは合格しても、日々の宿題はやっつけて調べもせず雑な字で埋めてくるだけの子、間違いを添削してもらい、ほぼ答えのようなヒントを添えてもらってもそれすら読まず、直らないままどんどん直しがたまっていく子等々。彼らには「努力する意志」が感じられません。塾を辞めたくはないけれど、しっかりやろうという「意志」がないために行動が伴わないのです。それでも塾としては何とか本人が変わることを期待して精一杯指導します。パートテスト連続不合格の場合は年度の途中でも退塾としますが、取り組み方については一年間粘り強く言い聞かせ、時間外補習も行い、徹底的にやるべきことはやらせませす。その中で良い方に変わっていく子もいますが、一年間注意し続けても変わらない子もいます。その場合、厳しいようですが退塾していただきます。当塾に在籍してもらっても今以上に力を伸ばせると思えないからです。これは成績とは関係ありません。たとえオール5であっても学年トップであっても「努力する意志」のない塾生はお預かりできません。逆に、今の自分より伸びるために努力して頑張ろうという「意志」のある塾生は、集団授業を受けて理解していただくだけの能力さえあれば成績問わずとことん応援します。これが当塾の方針です。「十訓」は単なるお題目ではありません。

今週、中1と中2は私との二者面談です。来年度契約更新をするかどうか話し合いで決めます。自分の意志は決めてきて下さい。ただし、私からの通達もあります。